2020年4月18日

国際ロータリー第2720地区
クラブ会長 様

国際ロータリー第2720地区
2019～2020年度ガバナー 瀧 満

COVID-19関連社会奉仕事業のご報告

この度のCOVID-19禍の中、下記の趣旨目的で地区としての社会奉仕事業を実施致します。資金については、4に示しますようにR財団・地区補助金と地区資金から支出させていただきますのでご報告させていただきます。ご理解ご承諾をお願いいたします。

記

1. 趣旨・目的

誰も予測していなかった感染症のパンデミックが世界を震撼させ、人々の命と経済が粉々に破壊されるかもしれない危機に直面しております。今出来ることは、それぞれの地域で活動するロータリアン1人1人が、地域の人々の命と経済、そしてロータリアン自身の職業を守るために行動する事です。具体的な行動として、R I D 2720では下記の『COVID-19関連社会奉仕事業』を企画・実行いたします。

2. COVID-19関連社会奉仕事業（A）

医療施設、介護施設等への医療行為補助資材を寄付する事業

- フェースシールド（顔を覆う透明ガード）・・・30,720セット
- マスク・・・20,000枚
- ハンドジェル・・・150本
- コロナ感染拡大予防ピンバッジ製作・・・2500ヶ
- 寄付先は各グループの医師会・行政等と調整中です
- 総予算・・・上記合計で約5,500,000円

3. COVID-19関連社会奉仕事業（B）肥後小国RCの梅田会長のご提案を事業化しました。

ロータリー会員企業を支援する相互助け合い事業...別紙（A）参照願います

4. 予算措置・・・下記①～③合計 5,500,000円

① 2019～2020年度R財団地区補助金未使用分	約 700,000円
② 2020～2021年度R財団地区補助金前倒分	約3,000,000円
③ 2019～2020年度地区資金の中から	約1,800,000円

5. 予算の補足説明

- 次年度地区補助金は今回のコロナに関連する事業に限り、前倒しで使える旨R財団本部より通達が来ております。各クラブからの次年度事業申請を制限するものではありません。これ以外にもR財団の資金申請を検討中ですが、不足する場合は一部地区資金を充当させていただきます。